１．個人データ

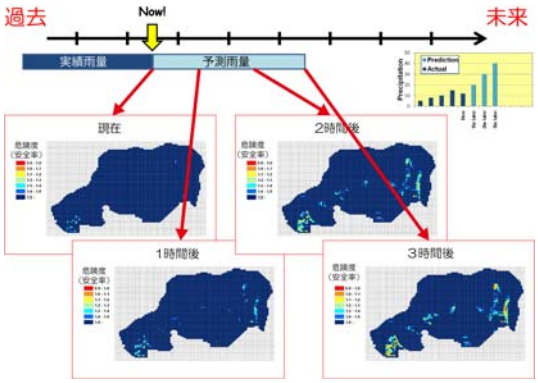
職名：准教授　　氏名：鳥居 宣之　　学位：博士（工学）　e-mail： torii@kobe-kosen.ac.jp

２．教育・研究テーマ

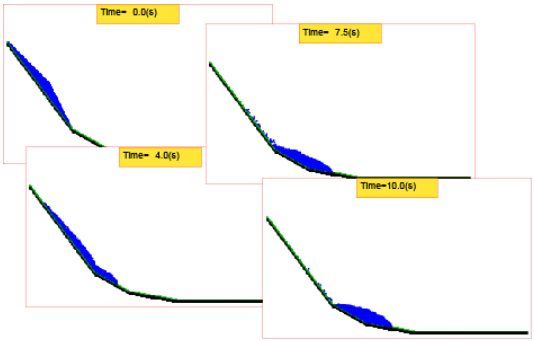
【地震や豪雨に伴う斜面災害による被害軽減を目指した研究開発】

我が国は，国土の約７割が急峻な地形で占められており，また脆弱な地質も広く分布しています．さらに，地震や降水量が多いため，これまで数多くの尊い人命や財産が奪われるなどの地盤災害が多数発生してきました．

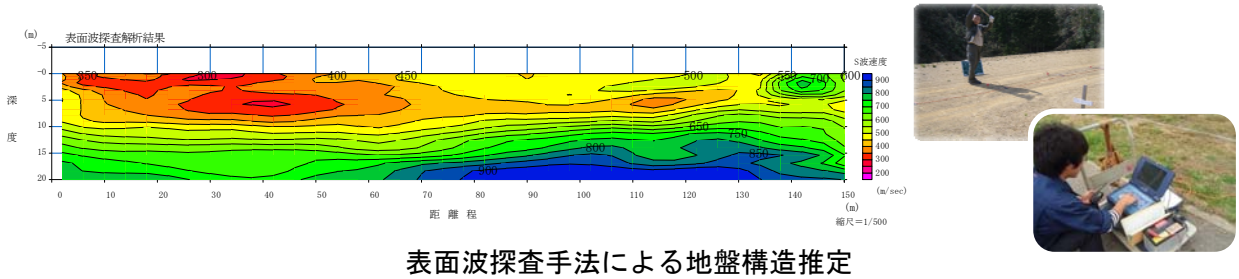
本研究室では，地盤災害の中でも特に斜面災害に着目し，斜面崩壊の発生メカニズムの解明と斜面災害の発生危険度評価手法の構築に関する様々な研究を行っています．我々の研究成果が，斜面災害による人的・物的被害を軽減し，安全で安心できる社会の実現に貢献することを目指しています．



リアルタイム型危険度評価システム



崩土の到達距離シミュレーション



表面波探査手法による地盤構造推定

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

- 斜面災害危険度評価結果に基づくハザードマップ作成
- 地盤調査法（常時微動，表面波探査，簡易貫入試験など）
- 数値標高モデル（DEM）を用いた地形計測手法
- 防災に関する教育・啓発活動

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

- 豪雨や地震による斜面崩壊発生メカニズム
- 斜面防災・減災対策への数値標高モデル(DEM)の活用方法
- 神戸の地盤と地盤災害の特徴

（３）キーワード

- 斜面防災，地盤災害，リスクコミュニケーション，防災教育